

第170回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ
『眼をひらく』
こころ
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2018年8月20日（月）午後6時半より

講 題 一人十色の生死観

講師紹介

仙台教区碧祥寺住職

社会福祉法人老人ホーム光寿会理事長

特別養護老人ホーム光寿苑苑長

西和賀ふくし友の会

（子どもによる寺子屋事業・しゃべり場、ライブ開催等）

震災支援・チームにしわが協議会

（震災支援を通じた町づくり・人づくり）

先生からのメッセージ

人其々の人生観がある。それは十人十色…。自分らしくありたい。自分らしく最期まで生きて息を引きとれたら…。

しかし、自分らしさとは一体何なのか。

私たちは人生の中で変化して生きてきた。日常の中にも喜怒哀楽で上がり下がり…。実際には一人十色ある生死の問題を、自分らしさを勘案しながら皆様と尋ねていきましょう。

MEMO

次回 第171回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2018年9月20日(木) 午後6時半より

講 師 戸次 公正(べっき こうしょう)氏

講 題 心を弘誓の仏地に樹て

講師紹介 1948年生まれ。
大谷大学大学院修士課程修了。
大阪教区南溟寺住職。

著 書 『親鸞の詩が聞こえる—エッセンス・正信偈』(東本願寺出版)
『意識 無量寿経』(法蔵館)

メッセージ 「心をひらく」という教区サブテーマは、現代社会において「対話」と「共存」を成り立たせるキーワードです。では、私たちは自らが造る閉塞状況を破れるのでしょうか...

心の壁を叩き、信の橋を架けるには何が必要なのか? それを「心を弘誓の仏地に樹て、念を難思の法海に流す」(『教行信証』)という親鸞聖人のお言葉に聞思してまいります。

